

令和5年度 島根県立大田高等学校 学校評価報告書

4段階評価：A－十分に達成できている状況 B－おおむね達成できている状況 C－どちらかといえば達成できていない状況 D－ほとんど達成できていない状況

評価の数値（％）＝総数における肯定的意見（4・3）の割合 \*（0）わからないは除く [4:十分できている 3:大体できている 2:やや不十分である 1:不十分である 0:わからない]

教育目標	1 真理を探究し正義を愛する生徒を育成する	2 個性豊かで社会的資質に富んだ生徒を育成する	3 健康的で勤労意欲旺盛な生徒を育成する
------	-----------------------	-------------------------	----------------------

観点	学校評価項目	教職員評価	保護者評価	生徒評価	自己評価		学校関係者評価	
					評価	概評と改善策	評価	提言
主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善を図る	IT教育(プログラミング学習やIT講演会)を通じてITへの理解や興味が深まりましたか。	100	71	79	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一台端末の使用上のモラルを養う機会を考えたい。</li> <li>・協調学習については、その意味や手法を説く講演会の企画(保護者向け)を考える必要がある。ただ、直接授業を受けている生徒の割合が高いことが「提供できている」を示していると考えられる。</li> <li>・R4入学生からの一人一台端末の効果的な活用が浸透しつつある。引き続きICTに関する情報提供やICT支援員制度の活用を呼びかけ、教員側の円滑な活用を支援したい。</li> <li>・ICTを活用した学習の実践を充実させ、効果的な学習につなげていることが生徒の意欲に結びついている一因と考えている。今後も継続したい。</li> <li>・今年度もジグソー法等による授業の実践についての公開授業を实践。対話的な学習活動につながる指導方法を共有していきたい。一方で生徒が考えを深める学習にしていくことが重要である。今後も継続したい。</li> <li>・さらに生徒が自主的に、能動的に取り組めるよう支援が求められる。Google Classroomの活用などで計画的に学習できる習慣に繋がらないか検討したい。</li> <li>・課題設定・解決スキルについての講演会・研修を行ったが、教員の積極的参加を促す大田高校全体として取り組むたい。</li> <li>・図書館は限られた予算で工夫してレイアウトや蔵書を充実させており、来館した生徒には好評である。さらにPRしていきたい。</li> <li>・図書館を調べ学習で意欲的に使っている。教科・学年会や生徒からの要望をかなえるように、さらに工夫したい。</li> <li>・朝読書や生徒向けの選書、図書だよりは好評だったと考える、今後も継続していきたい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に評価が高く、昨年度と比べて、生徒、保護者の評価が殆どの項目で良好化しているのが頼もしい。</li> <li>・ランドデザインを生徒が忘れていないか。しっかりと生かしてほしい。</li> <li>・探求学習については、地域との連携がよく取れている。失敗しながら進む生徒の姿勢も大変によい。魅力化コーディネーター不在のため地域の伴走者の負担が増している。</li> <li>・部活動の活性化も図ってほしい。</li> <li>・パソコンやスマホを用いた情報教育を進めてほしい。</li> </ul>
	協調学習(ジグソー法やペアワーク、グループワークなど)を通じて深い学びをすることができましたか。	90	85	95				
	本校は、教室内にあるICT機器(プロジェクター、タブレットなど)が活用されていますか。	97	78	97				
	本校は、生徒自身の「学びたい」という気持ちや「学ぼう」という気持ちに添えていますか。	100	89	93				
	公開授業や研修を通じて、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善が図られていますか。	97						
	生徒が宿題・課題等に取り組むことは、学習習慣の確立や基礎学力の向上につながっていますか。	100	88	90				
	生徒を取り巻く様々な場面で学習で、課題設定・解決スキルを育てることを意識しましたか。	87						
	本校の図書館は、生徒にとって利用しやすいですか。	84		88				
	本校の図書館の蔵書構成(生徒が読みたくなるような本、調べ学習に役立つ本等)は充実していますか。	97		92				
「図書館だより」などの広報誌の配布、出張図書館や展示の掲示は、生徒の読書活動につながっていると感じますか。	100		79					
地域・家庭とともに成長する学校をめざす	地域に係る活動(地域体験活動や地域探究学習など)を通じて地域への理解や愛着が深まりましたか。	91	69	84	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服装・頭髪については、年間4回の検査を継続実施するとともに、全教職員がその場その場で気付いたときに指導していきたい。</li> <li>・部活動については、現状では、部ごとに大きな温度差があると思われる。勉強との両立支援や施設の整備など充実した部活動が実施できるよう、物心両面で支援していきたい。</li> <li>・コロナ禍中は減っていたボランティアの依頼も徐々に増えてきたので、今後もボランティア活動の案内を行って支援していきたい。</li> <li>・保護者への進路情報の提供については、今後も説明内容を吟味し、ニーズをふまえた情報の提供に努めたい。説明資料の更新など適切な発信を心がける。</li> <li>・生徒への進路情報の提供については、学年会からの発信が生徒に伝わっているようだ。進路指導部として、進路LHR等の充実を支援できるように学年会と連携を図る。</li> <li>・キャリア教育については、分掌・学年会と連携し、生徒が高校生活のさまざまな学びや経験とのつながりの中で進路志望を見いだせるように仕掛けたい。</li> <li>・補習や休日講座については、模試の成績向上が肯定的評価につながったか。教科・学年会の協力を仰ぎ、新課程入試に向けて実効の上がる補習を実施する。</li> <li>・PTA総会については、来年度は土曜日の午後を設定するにした。また、授業公開日については、公開する時間の見直しなど、実施方法等について検討していきたい。その他、保護者が学校の様子を知ることができる機会がないか検討したい。</li> <li>・泰山木は、PTA総務委員会の意見に基づいて作成している。これからも要望に沿って編集していきたい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域経済界と高校生とのコラボはできないだろうか。</li> <li>・県外生の募集を継続してもらいたい。</li> <li>・教育活動の目的に向けて、確実に進んでいる。</li> <li>・自ら学ぼうとする意欲が向上している傾向がある。</li> <li>・学校が生徒に寄り添い、学びたい気持ちを引き出そうとしていることが感じられる。</li> <li>・生徒は、学校が地域と連携しているという安心感を持っていると感じられる。</li> <li>・良い学びの環境が作られていると考えられるので、内外にそのことを発信し、生徒数確保や新たな連携につなげてほしい。</li> <li>・県外生募集の情報発信が課題。</li> </ul>
	服装・頭髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていますか。	88	97	92				
	部活動の内容は、生徒、保護者にとって満足できるものですか。	94	79	88				
	本校は、生徒のボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	74	61	84				
	本校は、保護者進路説明会等を通じて、保護者に進路に関する情報を伝えていますか。	100	92					
	本校は、進路講演会や学年集会等を通じて、生徒に進路に関する情報を伝えていますか。	100		94				
	本校のキャリア教育は、生徒に自分の生き方について考えるものになっていますか。	83	79	91				
	放課後補習・夏期補習(3年対象)や休日講座(自習型・模試対策型)は学力向上に効果がありますか。	93	79	85				
	PTA総会、授業公開日など保護者対象の行事は、適切に行われていますか。		57					
本校は、「泰山木」・大田高ホームページを通じて学校の様子を伝えていますか。	88	80	79					
自他の生命や人権を大切に育てる生徒の育成をめざす	本校は、合理的配慮やユニバーサルデザインを意識した教育が行われていますか。	86			B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援の必要性に応じて適切な合理的配慮をする義務があり、教員側も生徒の抱える困難や具体的な配慮の内容について学ぶ必要がある。</li> <li>・学校活動のすべての場面で互いを尊重し、協力しあう雰囲気をつくれるよう支援したい。</li> <li>・避難訓練などの防災教育は昨年と同様に行った。本年度は久々に消火器訓練などもすることができた。来年度に向けては、自然災害に対応した訓練のあり方も検討したい。</li> <li>・スクールカウンセラーについては、保護者への周知が不十分との回答だが、年度初めにSC訪問プリントを配布している。今後、HPやマメールで随時配信していきたい。</li> <li>・保健講話や保健室からの情報発信については、良い評価をいただいているので、今後も続けていく。</li> <li>・生徒の健康管理・維持への対応や指導については、良い評価をいただいているので、今後も丁寧に対応していきたい。</li> <li>・初めてLGBTQに関する講演会を全校対象に実施できたことは成果であった。今後も人権課題について工夫を重ねたい。</li> <li>・昨年度と比べて、本校を「相談しやすい」と捉えている生徒・保護者が増えた。引き続き生徒理解に努め、学校全体で生徒を見守り、信頼を深めていけるようにしたい。</li> <li>・生徒理解については、昨年度と比べて、肯定的評価の割合が高くなった。担任の定期的な生徒面談や保護者面談など、様々な場面で生徒理解に努めてきた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の「学びたい」「学ぼう」という気持ちに添えている結果が出ている。</li> <li>・ランドデザインについて、生徒が理解すること、ま、そのことについて意見交換をするような機会を持ってほしい。</li> </ul>
	本校は、自尊感情やコミュニケーション力を高める取り組みをしていますか。	81						
	本校は、生徒の安全確保(安全点検、避難訓練、防災教育、緊急連絡メールなど)を適切に行っていますか。	81	89	96				
	スクールカウンセラーの利用について周知されていますか。	97	68	92				
	本校の保健講話や保健室からの情報発信は、自分自身の健康管理に役立っていますか。		94	89				
	生徒の健康管理・維持への対応や指導は適切ですか。	90		93				
	本校では、人権学習や講演会を通じて、人権意識を高める教育が行われていますか。	100	84	95				
	本校は相談しやすい学校ですか。	100	75	85				
	本校は生徒理解に努めていますか。	94	81	92				
総合的に見て、本校に入学して良かったですか。		90	85					